

【医学部看護学科】

○教員養成の理念・目的

医学部看護学科では、生命の尊厳と人間愛を基調として、豊かな知性と科学的判断力および高度な看護の知識と技術を用いて、現代社会の多様で複雑な健康ニーズに対応することのできる看護専門職の育成を行っています。教職課程においては、子ども達が社会・学校・家庭での生活における自らの健康課題を見つけ、それに対処していくことができる豊かな心と身体を育むことができるよう、保健・医療と連携・協働しながら対応することのできる養護教諭を育成します。また、変化し続ける教育現場や医療に対応していくために、生涯にわたり研究的な態度で自己研鑽していくことのできる養護教諭の養成を目指しています。

○教職課程の設置趣旨

医学部看護学科は、看護師・保健師の養成を中心にを行い、その中で養護教諭の養成も行っています。保健師課程の授業科目でもある学校保健では、学校現場における実践的な保健活動について教授します。また、地域看護学に関する講義はもとより地域看護学実習をとおして、地域の中の学校を捉え、保健・医療と連携・協働しながら教育することのできる養護教諭を育成していきます。さらに、3年次と4年次には教育実習を行います。山陰両県で唯一、養護教諭一種免許状が取得できる課程であり、特に山陰地域の学校保健活動をリードしていくことのできる養護教諭を養成するという大きな役割をもっています。